

本校の 生徒指導について



三郷市立早稲田中学校

0. 本校の概要 その1

生徒・教職員数等

○生徒総数693名 教職員38名
・1年生 6学級 ・2年生 7学級 ・3年生 6学級



S59年開校
30周年

主な出身小学校

○早稲田小 ○丹後小 ○前間小 ○後谷小 ○桜小
その他9校 計14校

学校教育目標

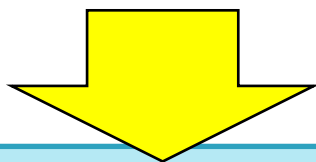
○学力の高い学校 ○安心・安全な学校 ○美しい学校



0. 本校の概要 その2

学校の実態

- 一部の生徒により繰り返される問題行動
 - ・対教師暴力
 - ・器物破損
 - ・授業妨害
- 規範意識の低い生徒集団
- 学力の格差



○スクールサポーターの導入(H24~H25. 6)

○生徒指導研究推進モデル校(H25年度)



1. 本校の重点目標

学力の向上

補習の充実(昨年)

- 夏季支援スクール(昨年より)
- 全校補習
- 課題テスト(昨年より)

授業規律の確立

(昨年・今年)

授業の充実(今年)

- 少人数(数・英)
- 各教科研究授業
- 授業研究会(昨年より・3学期)
- 授業参観者からの感想(新)
- 第2図書館設置(新)

規範意識の醸成

生徒指導・特別活動

2. 本校の重点目標

規範意識の醸成

＜生徒指導＞
ゼロトレランス的(後述)

集中と優先順位

＜特別活動＞

こなす行事からの脱却

- 指導のねらいは「規範意識の醸成」
- 指導しきることができる規模・内容の学校行事
 - * 体育祭…「縦割り方式」から「学級対抗」へ
 - * 歓迎会…2曲から「校歌」1曲へ
 - * 3年生を送る会…停止

3. 本校の生徒指導

<基本方針> 規範意識の醸成

○学校としての指導方針に基づく生徒指導

○集団の質的向上と個の育成

<基本理念>

○社会で許されないことは学校でも許されない

○自分で行ったことに対し自分で責任を負う

ゼロトレランス的な生徒指導

4. ゼロ・トレランスとは

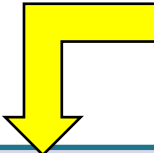
目的 規範意識の醸成

方法 ①ルール周知


- ・ルール違反のペナルティも含めて生徒及び保護者に周知する。

②ルールの徹底

- ・違反者に対しては原則として、例外なくルールを適用する。



寛容(トレランス)ゼロ



5. 本校のルール

<早中スタンダード> 問題行動への処遇

①授業エスケープ

②授業妨害

③触法行為(暴力・喫煙等)

④異装・頭髪

⑤登校時間

⑥学校行事

自宅学習

再登校

10:30まで

ご辞退


※対教師・器物破損等は関係諸機関との連携

6. 基本的な考え方^{その1}

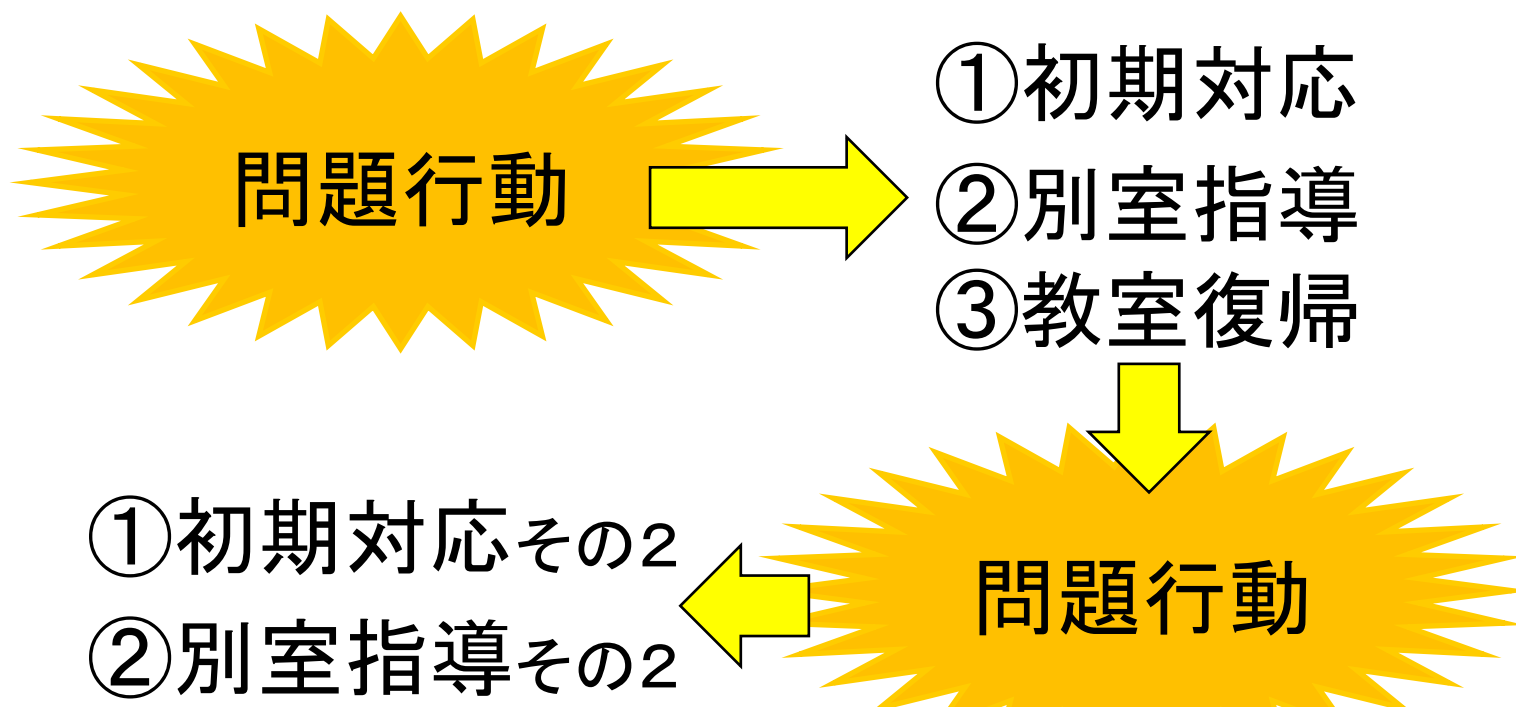
「早中スタンダード」のねらい

- ①安心して学習・生活できる安全な環境を保障し生徒一人一人の学力向上をめざす。
- ②社会で許されないことは学校でも許されないという毅然とした指導により規範意識を醸成する。
- ③ルールを守ることの大切さを理解し、自他を尊重できる心豊かな生徒を育成する。

自分の行動に責任を持たせる



6. 基本的な考え方_{その2-1}



一般生徒への教育活動が遅滞する

問題行動への指導が不徹底になる



6. 基本的な考え方_{その2-2}

問題行動

①初期対応

②自宅学習

通常の教育活動へ

①生徒の成長促進

②正義が通る集団へ

問題を抱える生徒

①責任をとらせる

②指導時間の確保

「毅然とした指導」…だめなものはだめ

「粘り強い指導」…切り捨てない指導

7. 共通理解すべき点

① 切り捨てないこと…排除ではないこと

② 事前の周知を徹底すること(含保護者)

③ 指導ラインを一定に保つこと(平等性)

④ 強い指導をしていることの自覚を
× 体罰・言動等、当たり前前を当たり前前



子どもを認め、鍛え、励ます



8. 成果と課題

○学校全体に落ち着きが生まれる。

○教員が指導に自信を持てる。

○大半の保護者に学校の考えが伝わる。

△教員の足並みを揃えること。

・家庭連絡 ・迅速、正確な報告

△問題を繰り返す生徒の保護者との関係





ご静聴ありがとうございました。